平成２３年度　　教育委員会点検・評価報告書　　教育総務部　教育指導課

基本方針	① 共に学び、多くの人とかかわり合いながら自立する子どもを育成します		
施策の柱	⑤　一人ひとりのニーズに対する教育の推進		
実施事業名	１　特別支援教育推進事業		
当初予算額	１２２，２２５　千円	執行額	１１３,６３１　千円
予算現額	１２２，２２５　千円	執行率	９３　％

１．目的・目標

特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育の充実を推進する。

２．平成２３年度の取組みの概要

・特別支援教育運営事業
・特別支援教育整備事業

３．進捗状況

・介助員派遣事業については、全市立学校に対して62,370時間の派遣を行った。
・小学校1校、中学校1校の特別支援学級開級準備を行った。

４．効果・成果等

・介助員の派遣により、学校生活での身辺処理・移動等の介助や、校外活動・学校行事等において支援が図られた。また、必要に応じて学生ボランティアを活用し、支援が図られた。
・支援の必要なすべての児童生徒に対し、宿泊行事の際も介助員派遣により、宿泊行事中の身辺処理・移動等生活上の介助が行われ、支援の充実が図られた。
・俣野小学校・高倉中学校特別支援学級開設に向け準備委員会において検討を行った。

５．課題・問題点

・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への介助や、必要な支援の充実を図るために、介助員派遣事業の拡充が必要である。
・特別支援学級においては、過大規模化解消と通学範囲の適正化が課題である。
・より教育的ニーズに応じた支援のできる、新しい通級指導を行う。

６．課題・問題点に対する今後の対応

・介助員派遣事業の内容を検討し拡充を図る。
・居住学区の学校に就学できるよう、特別支援学級・通級指導教室の新設を計画的にすすめる。

１－５－１ 特別支援教育推進事業　資料

３．進捗状況

特別支援教育運営事業

〇特別支援教育協議会の運営

・協議会の開催　年4回

〇特別支援学級・ことばの教室の運営

・研究会の開催等

・研究会等の開催リーフレット、啓発誌等の作成
「藤沢市の特別委教育」「のびゆく子ら」「光くまなく」発刊

・特別支援学級教材購入

・「のびゆく子ら作品展」開催業務委託

・特別支援学級校外学習用バスの借り上げ等

・聴力検査器保守点検等機器保守

・宿泊学習看護師派遣

・修繕費および消耗品等需用費

〇湘南台小学校・白浜養護学校の土曜日体育館開放事業

・湘南台小学校年16回　指導員5名、白浜養護学校年17回　指導員１１名

〇介助員派遣事業

・特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活や宿泊行事における介助や支援を行う。
対象：市立５５校　　計　34,870　時間派遣

・各学校において、担任と協力して困難な問題への対応、不登校傾向の児童生徒への支援等の教育活動に必要な介助員の派遣を行う。
対象：市立５５校　　計　27.500　時間派遣

〇特別支援学校通学費補助事業

・本市に特別支援学級肢体不自由部門の特別支援学校がないため、県立鎌倉養護学校・県立茅ヶ崎養護学校在学の本市在住者で、通学時に保護者の付添を要する通学者に対し交通費の助成を行った。対象者　３６人

特別支援教育整備事業

〇俣野小学校・高倉中学校特別支援学級開設準備

・特別支援学級を設置するため、教室及びトイレの修繕工事を行い教材等を整備し、平成２４年４月に開級した。

〇医療ケア支援事業

・学校看護介助員派遣事業
看護師資格を持つ介助員2名を派遣し、市立小・中学校の特別支援学級及び特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒に対して、比較的短時間かつ定時の対応により終了する処置について、主治医の指示に従い医療的ケアの実施及びそれに関する業務を行った。